



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月14日

上場会社名 日鉄住金物産株式会社

上場取引所 東

コード番号 9810 URL <http://www.nssb.nssmc.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮坂 一郎

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 多田 昌功

TEL 03-5412-5003

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	912,409	—	12,972	—	14,193	—	19,756	—
25年3月期第3四半期	760,825	—	7,100	—	7,082	—	4,285	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 23,192百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 4,267百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	102.40	—
25年3月期第3四半期	31.87	—

(注) 平成25年10月1日付の住金物産株式会社との合併により、前期及び前年同四半期の連結業績と比較して大幅に変動し、前連結会計年度末残高と当第3四半期連結累計期間の期首残高との間には連続性がなくなっております。そのため対前期増減率及び26年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率の記載を省略しております。
また、25年3月期第3四半期の連結経営成績(累計)はIFRIC第20号を適用後の数値であります。そのため25年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載を省略しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	661,222	152,805	21.0
25年3月期	261,682	62,506	20.1

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 138,885百万円 25年3月期 52,480百万円

(注) 25年3月期の連結財政状態はIFRIC第20号を適用後の数値であります。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
26年3月期	—	6.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

26年3月期第2四半期末の配当については、住金物産株式会社における配当実績を記載し、26年3月期(予想)の合計については、統合新会社の期末配当(予想)との合計を記載しております。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,470,000	—	20,700	—	22,200	—	22,000	—	99.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	309,578,001 株	25年3月期	134,801,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	370,536 株	25年3月期	315,435 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	192,940,961 株	25年3月期3Q	134,488,778 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

当社は、平成25年10月1日付の住金物産株式会社との合併にあたり、住金物産株式会社の株主に対して同日付で174,777,001株(新発行株式数)を割当て交付しております。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、分母の期中平均株式数を算定するにあたり、当該発行済株式数の増加を反映させて、算定を行っております。

なお、上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料については、TDnetで平成26年2月14日に開示し、同日、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、平成25年10月1日付で当社を存続会社、住金物産㈱を消滅会社とする吸収合併を行っております。本合併は、企業結合会計上の逆取得に該当し、当社が被取得企業、住金物産㈱が取得企業となるため、合併直前の当社の連結財務諸表上の資産・負債を時価評価した上で、住金物産㈱の連結貸借対照表に引き継いでおります。また、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、住金物産㈱の第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年9月30日）6ヶ月分の連結業績に、統合新会社の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日～平成25年12月31日）3ヶ月分の連結業績を合算した金額となっております。このため、前連結会計年度末残高と当第3四半期連結累計期間の期首残高との間には連続性がなくなっております。この影響で当第3四半期連結累計期間の各計数は、前第3四半期連結累計期間又は前連結会計年度と比較して大幅に変動しております。

これにより「(1) 経営成績に関する説明」及び「(2) 財政状態に関する説明」においては対前年同四半期及び前期末との比較は記載を省略しております。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の経済環境は、米国の緩やかな景気回復や、欧州の一部に景気の底打ちの兆しが見られ、新興国の一部に物価動向や政情不安などの先行き不透明感があるものの、全体として緩やかな景気回復が続きました。

我が国経済は、企業収益の回復に伴う雇用環境の改善に加え、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要があり、個人消費や住宅建設は増加いたしました。また底堅く推移する公共投資や、設備投資の持ち直しなどから、景気は緩やかに回復を続けました。

この結果、当社グループの業績は売上高は9,124億円、営業利益は129億72百万円、経常利益は141億93百万円、四半期純利益は合併に伴う負ののれん発生益の計上があり197億56百万円となりました。

報告セグメントの業績（セグメント利益は経常利益ベースの数値）は次のとおりであります。

（鉄鋼）

鉄鋼事業におきましては、国内は建設関連需要が好調に推移し、自動車や産業機械などの製造業分野も回復し、鋼材需要は堅調に推移しました。一方、輸出は円安の影響があったものの、需給緩和による市況低迷により厳しい環境が続きました。これらにより、売上高は6,081億円、セグメント利益は77億4百万円となりました。

（産機・インフラ）

産機・インフラ事業におきましては、鉄鋼メーカー等の設備投資が引き続き抑制されたことに加え、ロシアにおけるエネルギー関連設備機械の販売も低調に推移しました。これらにより、売上高は728億円、セグメント利益は18億67百万円となりました。

（繊維）

繊維事業におきましては、主要取引先との取引は堅調に推移したものの、円安によるコスト増により利益率が低下し、厳しい事業環境が続きました。これらにより、売上高は1,354億円、セグメント利益は24億66百万円となりました。

（食糧）

食糧事業におきましては、輸入豚肉や輸入牛肉の販売は堅調に推移したものの、加工食品における円安影響などにより、厳しい環境にありました。これらにより、売上高は948億円、セグメント利益は21億58百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は6,612億円となりました。流動資産5,375億円のうち主なものは営業債権4,014億円であります。固定資産1,236億円のうち主なものは投資その他の資産684億円であります。

負債合計は5,084億円となりました。流動負債4,722億円のうち主なものは営業債務2,689億円であります。固定負債361億円のうち主なものは長期借入金244億円であります。

純資産合計は、1,528億円となりました。このうち株主資本合計は1,342億円となり、その他の包括利益累計額合計は46億円となりました。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,536	29,604
受取手形及び売掛金	159,123	401,423
リース債権及びリース投資資産	3,178	—
たな卸資産	—	90,337
商品及び製品	27,844	—
その他	9,792	18,992
貸倒引当金	△452	△2,759
流動資産合計	219,024	537,598
固定資産		
有形固定資産	18,198	54,088
無形固定資産		
のれん	—	172
その他	1,061	959
無形固定資産合計	1,061	1,132
投資その他の資産		
その他	23,737	71,987
貸倒引当金	△339	△3,584
投資その他の資産合計	23,398	68,402
固定資産合計	42,658	123,623
資産合計	261,682	661,222
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	107,120	268,977
電子記録債務	7,490	—
短期借入金	50,868	179,207
貿易債権流動化債務	3,111	—
未払法人税等	1,317	2,252
引当金	884	958
その他	7,504	20,869
流動負債合計	178,298	472,265
固定負債		
長期借入金	15,000	24,453
貿易債権流動化債務	1,747	—
引当金	965	3,143
その他	3,164	8,555
固定負債合計	20,877	36,151
負債合計	199,175	508,416

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,750	12,335
資本剰余金	8,750	50,643
利益剰余金	36,252	71,385
自己株式	△73	△94
株主資本合計	53,678	134,271
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	603	3,779
繰延ヘッジ損益	△69	△93
為替換算調整勘定	△1,732	928
その他の包括利益累計額合計	△1,198	4,614
少数株主持分	10,026	13,919
純資産合計	62,506	152,805
負債純資産合計	261,682	661,222

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	760,825	912,409
売上原価	727,577	851,127
売上総利益	33,248	61,281
販売費及び一般管理費	26,147	48,309
営業利益	7,100	12,972
営業外収益		
受取利息	266	200
受取配当金	125	399
持分法による投資利益	361	878
その他	416	1,459
営業外収益合計	1,169	2,938
営業外費用		
支払利息	857	1,250
為替差損	61	—
その他	269	467
営業外費用合計	1,188	1,717
経常利益	7,082	14,193
特別利益		
負ののれん発生益	—	11,731
固定資産売却益	—	88
投資有価証券売却益	—	42
持分変動利益	—	11
特別利益合計	—	11,874
特別損失		
減損損失	—	605
事務所移転費用	—	335
関係会社整理損	—	287
持分変動損失	—	61
投資有価証券売却損	—	35
投資有価証券評価損	125	—
退職給付制度改定損	65	—
ゴルフ会員権売却損	3	—
特別損失合計	195	1,325
税金等調整前四半期純利益	6,886	24,742
法人税等	2,484	4,771
少数株主損益調整前四半期純利益	4,402	19,971
少数株主利益	116	215
四半期純利益	4,285	19,756

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,402	19,971
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△307	967
繰延ヘッジ損益	△37	△108
為替換算調整勘定	131	928
持分法適用会社に対する持分相当額	78	1,432
その他の包括利益合計	△134	3,221
四半期包括利益	4,267	23,192
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,162	22,920
少数株主に係る四半期包括利益	104	272

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年10月1日付で当社を存続会社、住金物産㈱を消滅会社とする吸収合併を行っております。本合併は、企業結合会計上の逆取得に該当し、当社が被取得企業、住金物産㈱が取得企業となるため、合併直前の当社の連結財務諸表上の資産・負債を時価評価した上で、住金物産㈱の連結貸借対照表に引き継いでおります。このため、前連結会計年度末残高と当第3四半期連結累計期間の期首残高との間には連続性がなくなっており、当第3四半期連結累計期間の株主資本の期首残高は住金物産㈱の連結期首残高となっております。

当第3四半期連結累計期間における株主資本の各項目の主な変動事由及びその金額は、次のとおりであります。

	株主資本（百万円）				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成25年4月1日残高（注）1	12,335	7,084	54,576	△583	73,412
当第3四半期連結累計期間の変動額					
合併による増減（注）2	—	43,559	—	512	44,072
剰余金の配当			△2,938		△2,938
四半期純利益			19,756		19,756
持分変動差額			△8		△8
自己株式の取得				△24	△24
自己株式の処分		0		0	1
当第3四半期連結累計期間の変動額合計	—	43,559	16,809	489	60,858
平成25年12月31日残高	12,335	50,643	71,385	△94	134,271

(注) 1 「平成25年4月1日残高」は、住金物産㈱の連結期首残高を記載しております。

2 「合併による増減」は、住金物産㈱を取得企業、当社を被取得企業としてパーチェス法を適用したことによる増減であります。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鋼材	原燃料	機材・ 産業機械	計		
売上高						
外部顧客への売上高	641,203	84,078	35,544	760,825	—	760,825
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	—	0	5	△5	—
計	641,207	84,078	35,545	760,831	△5	760,825
セグメント利益	5,087	1,236	756	7,080	1	7,082

(注) 1 セグメント利益の調整額1百万円は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄鋼	産機・ インフラ	繊維	食糧	計				
売上高									
外部顧客への売上高	608,190	72,887	135,461	94,817	911,356	1,052	912,409	—	912,409
セグメント間の内部 売上高又は振替高	749	1,122	0	—	1,872	152	2,025	△2,025	—
計	608,939	74,009	135,461	94,817	913,229	1,204	914,434	△2,025	912,409
セグメント利益 (経常利益)	7,704	1,867	2,466	2,158	14,196	0	14,197	△3	14,193

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業他を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△3百万円は、セグメント間取引消去△3百万円であります。

3 「報告セグメント」及び「その他」のセグメント利益の合計は、調整額△3百万円を除き、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

4 合併により前連結会計年度末に比べ鉄鋼、産機・インフラセグメントの資産がそれぞれ増加しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

当社は、平成25年10月1日付で当社を存続会社、住金物産(株)を消滅会社とする吸収合併を行っております。これにより、負ののれん発生益11,670百万円が発生しておりますが、各セグメントには配分しておりません。